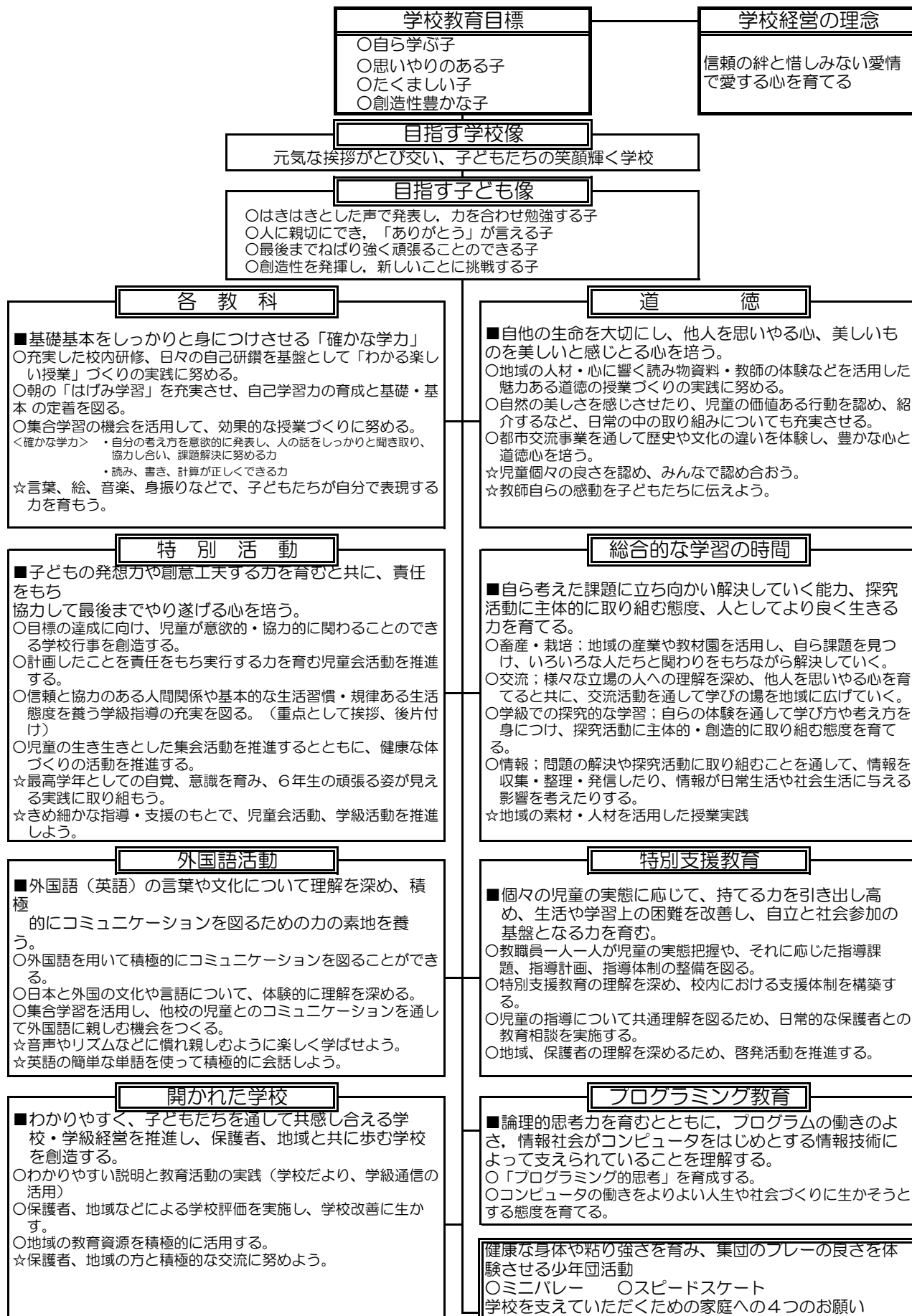


令和2年度 上居辺小学校の目指す教育



学校教育目標

- 自ら学ぶ子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- 創造性豊かな子

学校経営の理念

信頼の絆と惜しみない愛情で愛する心を育てる

目指す学校像

元気な挨拶がとび交い、子どもたちの笑顔輝く学校

目指す子ども像

- はきはきとした声で発表し、力を合わせ勉強する子
- 人に親切にでき、「ありがとう」が言える子
- 最後までねばり強く頑張ることのできる子
- 創造性を発揮し、新しいことに挑戦する子

各教科

■基礎基本をしっかりと身につけさせる「確かな学力」

- 充実した校内研修、日々の自己研鑽を基盤として「わかる楽しい授業」づくりの実践に努める。
- 朝の「はげみ学習」を充実させ、自己学習力の育成と基礎・基本の定着を図る。
- 集合学習の機会を活用して、効果的な授業づくりに努める。

<確かな学力> ・自分の考え方を意欲的に発表し、人の話をしっかりと聞き取り、協力し合い、課題解決に努める力

・読み、書き、計算が正しくできる力

☆言葉、絵、音楽、身振りなどで、子どもたちが自分で表現する力を育もう。

道徳

■自他の生命を大切に、他人を思いやる心、美しいものを美しいと感じとる心を培う。

- 地域の人材・心に響く読み物資料・教師の体験などを活用した魅力ある道徳の授業づくりの実践に努める。
- 自然の美しさを感じさせたり、児童の価値ある行動を認め、紹介するなど、日常の中の取り組みについても充実させる。
- 都市交流事業を通して歴史や文化の違いを体験し、豊かな心と道徳心を培う。

☆児童個々の良さを認め、みんなで認め合おう。

☆教師自らの感動を子どもたちに伝えよう。

特別活動

■子どもの発想力や創意工夫する力を育むと共に、責任をもち協力して最後までやり遂げる心を培う。

- 目標の達成に向け、児童が意欲的・協力的に関わることのできる学校行事を創造する。
- 計画したことを責任をもち実行する力を育む児童会活動を推進する。
- 信頼と協力のある人間関係や基本的な生活習慣・規律ある生活態度を養う学級指導の充実を図る。（重点として挨拶、後片付け）
- 児童の生き生きとした集会活動を推進するとともに、健康な体づくりの活動を推進する。

☆最高学年としての自覚、意識を育み、6年生の頑張る姿が見える実践に取り組もう。

☆きめ細かな指導・支援のもとで、児童会活動、学級活動を推進しよう。

総合的な学習の時間

■自ら考えた課題に立ち向かい解決していく能力、探究活動に主体的に取り組む態度、人としてより良く生きる力を育てる。

- 畜産・栽培；地域の産業や教材園を活用し、自ら課題を見つけ、いろいろな人たちと関わりをもちながら解決していく。
- 交流；様々な立場の人への理解を深め、他人を思いやる心を育てると共に、交流活動を通して学びの場を地域に広げていく。
- 学級での探究的な学習；自らの体験を通して学び方や考え方を身につけ、探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育てる。
- 情報；問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会生活に与える影響を考えたりする。

☆地域の素材・人材を活用した授業実践

外国語活動

■外国語（英語）の言葉や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図るための力の素地を養う。

- 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができる。
- 日本と外国の文化や言語について、体験的に理解を深める。
- 集合学習を活用し、他校の児童とのコミュニケーションを通して外国語に親しむ機会をつくる。

☆音声やリズムなどに慣れ親しむように楽しく学ばせよう。

☆英語の簡単な単語を使って積極的に会話しよう。

特別支援教育

■個々の児童の実態に応じて、持てる力を引き出し高め、生活や学習上の困難を改善し、自立と社会参加の基盤となる力を育む。

- 教職員一人一人が児童の実態把握や、それに応じた指導課題、指導計画、指導体制の整備を図る。
- 特別支援教育の理解を深め、校内における支援体制を構築する。
- 児童の指導について共通理解を図るため、日常的な保護者との教育相談を実施する。
- 地域、保護者の理解を深めるため、啓発活動を推進する。

開かれた学校

■わかりやすく、子どもたちを通して共感し合える学校・学級経営を推進し、保護者、地域と共に歩む学校を創造する。

- わかりやすい説明と教育活動の実践（学校だより、学級通信の活用）
- 保護者、地域などによる学校評価を実施し、学校改善に生かす。
- 地域の教育資源を積極的に活用する。

☆保護者、地域の方と積極的な交流に努めよう。

プログラミング教育

■論理的思考力を育むとともに、プログラムの働きのおよさ、情報社会がコンピュータをはじめとする情報技術によって支えられていることを理解する。

- 「プログラミング的思考」を育成する。
- コンピュータの働きをよりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を育てる。

健康な身体や粘り強さを育み、集団のプレーの良さを体験させる少年団活動

- ミニバレー
- スピードスケート

学校を支えていただくための家庭への4つのお願ひ